



ま ちかど インタビュー

震災を振り返って新たな決意や想いは 東日本大震災から2年が経過

東日本大震災から2年が過ぎました。2年という時の流れを、町民の皆さんはそれぞれどんな気持ちでむかえたのでしょうか。今回、東日本大震災を振り返り、新たな決意や想いをお伺いしました。



遠藤 昭一さん
(折木・田中)

に心からの感謝と敬意を表
したいです。

避難生活は続いています
が、私達大人は、負の遺産
を残さず、安心して暮らせ
るふるさとを手渡し、子供
達の未来を築けるようにし
なければと思います。

今年3月孫の卒業式、校長先生が「頑張ったね、おめでとう」と卒業証書を渡しながら孫の顔を見た、その時、校長先生の目には涙があふれていました。広野の子供達を丸ごと受けとめ支えてくれた学校と先生達



おかえりなさいコンサート
(24年9月6日)



芳賀 清(きよえ)さん
(上浅見川・大谷内)

1年前に草が伸び放題になっ
ている田畑を見て本当に悲し
い気持ちでした。

今年は一部作付けをするの
ですが、2年たっても農業に
見通しがないことも残念です。
米を作り野菜を作ることが生
きがいでした。ですから、い
つでも田畑で作業できるように
健康に気をつけて、そして、
近所の人たちとも以前のよ
うに会えることを切に願って
います。

編集後記

東日本大震災と東京電力原発事故より2年が経過しました。

一日も早い復興に向け、最優先で除染を進め、他町に先駆け役場・学校と一部の商店・病院などが再開し、2年ぶりに諸々の行事を取り戻しました。

しかし「安全性」について町民の方々が納得の得られる状況になつていないのも事実であり、私たち議会は今まで以上に要望活動を強めて参ります。

先日幼稚園小学校中学校の卒業(園)式と入学式があり、これまでの立派な学事報告とふるさとの広野町の復興にも尽力したいとの姿勢に、力強く頼もしさを感じました。

町外の幼稚園小中学校に通う子供たちも、さつと同じころさしを持っていくことでしょ

う。
皆さんの未来に大いに期待しエールを送ります。

負けるな子供たち！
(小磯 利雄)



新学期をむかえた小学生

発行・編集責任者

議長 鈴木紀昭

広報委員会

委員長 渡邊正俊

副委員長 北郷幹夫

委員 塩 史子

委員 渡辺久長

委員 遠藤 智

委員 畑中大子

委員 小磯利雄

次の定例会は6月です